

ごっかくあそべ！

ごっかくまなべ！

冊子の裏側を  
ひらくと  
大きなキャンバスが  
ひろがるよ！

Open!



武藏野大学附属幼稚園

# 20

## 年先を見据える、 新しい教育。

深い探究心×高い自己肯定感が育ち、  
20年先の未来を切り拓くチカラが身につく幼稚園です。



園長: 村田 悅子

### 深い探究心

よく遊び、よく考える。自分が何が好きかを知る。  
進学先など将来自分の進路を決める時の  
チカラにもつながります。

### 高い自己肯定感

ありのままの自分、そして周りの人も大好きな子に。  
将来社会に出た際にも自信をもって  
自己表現できる人に育ちます。

本園の教育は、「20年先のウェルビーイングをめざす教育」です。それは生きとし生けるものが幸せになることをめざし、本園の全ての子どもたちが、幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和などの価値を大切にしながら、自分自身の幸せと社会全体の幸せをつくりつけていくようとする教育です。

本園では、まず、全ての子どもたちが幸せな存在になれるように、特に、「深い探究心」と「高い自己肯定感」を引き出していくような環境やかかわりをつくりていきます。「深い探究心」とは、自分の好きなこと、もの、ひとに、主体的にかかわり、没頭したり対話したり、表現したりすること、「高い自己肯定感」は、好きなことや得意なこと等に没頭している自分、何かができた自分だけではなく、うまくいかない時や失敗してもチャレンジし続けている自分を受け入れ、自分のことを好きな状態です。このように、子どもたちの「好き」や「得意」が見つけやすい広大な環境と、大学までの多様な人材を最大限に生かしながら、「子どもも大人も ウェルビーイング！」を実現していきます！

#### ウェルビーイングとは?

well(よい)とbeing(状態)からなる言葉。健康的、精神的、社会的に満たされた状態を意味します。瞬間的な幸せを表す「ハッピー」と違い、長続きする幸せを表す概念として世界的なスタンダードになりつつあり、「ポストSDGs」とも呼ばれています。

# 高 秀

中になれる。  
だから自分を好きになれる。

仏教の  
教え

いのちの尊さ、感謝の気持ち。  
いつも仏さまといっしょ。

仏教行事や伝統行事を通して、慈悲の心、利他の心を育みます。自然と感謝の思いで手を合わせられる子どもを育てます。

人への  
探究

人に触れ、人から学び  
人とのつながりを育む。

友達という喜びを感じ、お互いの違いやよさを認め合い、ともに育ち合います。



大学の学生や地域の  
高齢者、外国籍の方々など、  
世代を超えた交流から  
**人への探究心**を  
育てます。

友達と助け合いながら、  
**他者へ貢献**する大切さ  
を学びます。

運動への  
探究

あそびや運動を通し、  
健やかな体をつくる。

あそびや様々な体験から新しい世界を発見し、  
探究し続ける心を育みます。



▲ 運動あそび

▲ プールあそび

▲ ポルダリング

# 学といっしょ。 だから探究心が ぐんぐん育つ。



## 自然にあふれたキャンパスで あそんだり、挑戦したり。

キャンパスに広がる緑豊かな自然は、最高の遊び相手。季節の移ろいを肌で感じ、四季折々の美しい植物に触れ、ときに実りを味わうことで、子どもたちの豊かな感性と探究心が育まれます。



そして小さいのちとの触れあいは、またとない貴重な体験。園内での動物の飼育はもちろん、キャンパス内でも様々な動物や昆虫、草花との出会いがあり、いのちの大切さや尊さを実体験から学べます。五感をフルに使って遊び、探究する。そこから生まれる笑顔は、最高の宝物です。



## 大学キャンパス内だから使える、 充実した施設や設備。

大きなグラウンドに、大きなステージ。幼少期ではめったに触れることのできない場所が使えるのも本園ならではの特長。お茶のお点前が経験できる茶室やテニスコート、大学の教室など、充実した施設・設備が備わっています。



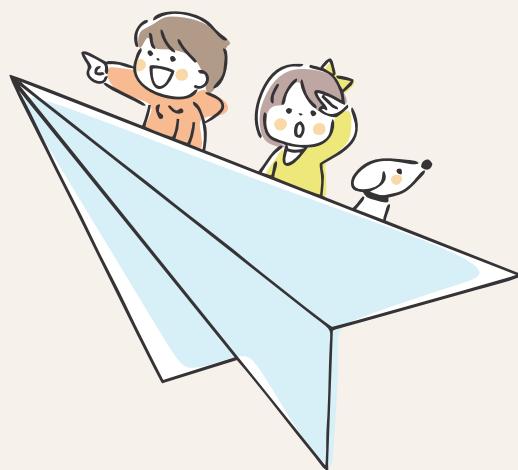
### 松芝園グラウンド(しょうしんぐらうんど)

陸上競技やサッカーなどもできる本格的なグラウンド。運動会を開催したり、かけっこや運動をしたりして、思いっきり体を動かします。



### 雪頂講堂(せっちょうこうどう)

約600人収容のホール。発表会をしたり、観劇会をします。大きなホールで思いっきり自己表現ができます。



### ここも ウェルビーイング!



大学で得られた最新の研究結果が、  
幼稚教育の現場で活かされています。

大学教員による「子ども相談」や「子育て応援講座」の開講など、子育て分野の専門家によるサポート体制が充実しています。また、大学教員と本園の先生が集まり、子どもの理解をより深める保育をともに探究しています。移り変わる時代の中でその時々の子どもに合わせた教育が、大学ー幼稚園の連携のもと行われています。



## 世代を超えた交流から、 人とのつながりを育む。

武蔵野大学との交流ももちろん盛んです。幼稚教育学科をはじめとする武蔵野大学の学生や先生との遊び体験をはじめ、教育実習生や中・高生ボランティアの受け入れなどを実施。新しい体験を通して好奇心が芽生えたり、学生と交流することでまた違ったコミュニケーションを経験したりと、感性と探究心を磨く一役を担っています。

### ■ 大学生や先生による、「遊びプロジェクト」の開催



### ■ 獣医の先生との交流

動物の飼育の仕方やいのちの大切さを教えてくれる地域の先生。身近なところからいのちの尊さが学べます。



### ■ PBLの高校生と「英語であそぼう」







## 大学内の安全空間

園児が活動する領域は、そのほとんどが大学のキャンパスの中。人目につきやすいことで、危ない場所に入り込んだり、道路に飛び出したりといった状況が生まれにくい環境です。  
キャンパス正門には24時間門衛が常駐しています。



## 防犯・災害対策

本園では、消防設備・緊急地震速報・緊急通報システム(学校110番)・防犯カメラの設置や定期点検を行い、非常時に備えています。  
また、火災、地震、不審者の侵入時などを想定した避難訓練を、年7回程度実施しています。



## 大学内の保健室を利用

園児が体調をくずしたり、転んでケガをしたりした時も、看護師が常駐し設備が整った大学内の保健室で応急処置ができるので安心です。  
また、園内にはAEDを設置し、いざという時にもしっかりと備えています。



### バス置き去り防止 システムを導入。

昨今問題になっているバスの置き去り。  
本園では、降車時に運転手が入念に確認するのはもちろんのこと、置き去りを未然に防ぐためのシステムをすべての園バスに導入しています。



くわしくはこちら  
みてね!

